



入学者選抜の 合否判定に関する資料

目次

ページ

| | | |
|---|-----------------------------|---|
| 1 | 特色選抜 合否判定基準 | 1 |
| 2 | 部活動・資格取得のランク表 | 3 |
| 3 | 特色選抜 [入学者選抜における求める生徒像・選抜方法] | |
| | 全日制 アグリテクノ科 | 4 |
| | 全日制 地域資源デザイン科 | 5 |
| | 全日制 食品クリエイト科 | 6 |
| | 全日制 ライフ創造科 | 7 |
| | 定時制 農業科 | 8 |
| 4 | 一般選抜 合否判定基準 | 9 |

1

令和8年度 特色選抜 合否判定基準

沖縄県立北部農林高等学校

1. 出願要件

後掲する「**3** 特色選抜 [入学者選抜における求める生徒像・選抜方法]」の備考欄に記載されている。出願要件に合致しない場合は審議の対象としない。

2. 配点【合計750点】

(1) 学力検査【配点 250点】

一般選抜の学力検査（各教科配点 60 点）のうち、思考力等を問う記述式問題以外の得点（各教科配点 50 点）を成績として取り扱う。

(2) 調査書【配点 250点】

ア. 教科の評定（配点 135点）

調査書中の1年～3年までの9教科の評定を合計し、評定合計点とする。

イ. 特別活動（配点 40点）

調査書中の特別活動の記録、行動の記録について、「○」の数に応じて加算する。

ウ. 部活動・資格取得等（配点 75点）

調査書に記載された実績のうち、「本人が取得・出場したことを証明する書類の写し」が提出された1項目(1つの大会、1つの検定等)について、後掲の「部活動・資格取得等のランク表」をもとにして得点を加算する。

(3) 面接・プレゼンテーション【全日制課程のみ：配点250点】

評価の観点・・・プレゼン発表内容・応答内容・態度・言葉遣い・服装容疑など

ア. 基本質問（配点 50点）

受検番号、出身中学校、氏名、志望理由、中学校での活動状況、高校生活の抱負などに関する5つの質問。

イ. プレゼンテーション（配点 資料50点、プレゼン75点、質疑応答75点、）

【選抜において重視する観点】の3について、事前に提出した資料をもとに3分間のプレゼンを行う。発表後の質疑内容については別に定める。

(4) 口頭試問【定時制課程のみ：配点100点】

ア. 基本質問（配点50点）

受検番号、出身中学校、氏名、志望理由、中学校での活動状況、高校生活の抱負などに関する5つの質問。

イ. 口頭試問（配点50点）

定時制農業科に関わる5つの質問（質問内容は別に定める）。

(5) 作文【定時制課程のみ：配点 150 点】

評価の観点・・・表現力・構成力など

ア. 検査当日に与えられた課題について 400 字程度の文章を作成する。

イ. 時間 50 分間

3. 合否の判定

上記 2(1)から(4)を合計した値を総合点として算出し、各圏を設定する。

4. 各圏の設定の仕方

A 圏

募集人員の 80%程度の人数が含まれるような範囲を設定し A 圏とする。

B 圏

募集人員の 110%程度が含まれるように範囲を設定し、それから A 圏を除いたものを B 圏とする。

C 圏

A 圏と B 圏を除いた残りを C 圏とする。

5. 合格者、不合格者の決め方

ア A 圏の中で下記の条件 1の (a) (b) のいずれかに該当するもの以外は合格者とする。ただし、第二志望のものは、B 圏として扱う。

イ C 圏の中で条件 2の (a) (b) (c) (d) のいずれかに該当するもの以外は不合格とする。

ウ B 圏のものにア、イで保留になったものを含めて条件 2 の (a) (b) (c) (d) により総合的に判断し、合格者を決定する。

条件 1

(a) 行動の記録に好ましくない記載がある者

(b) 正当な理由がなく、欠席の数が多い者

条件 2

(a) 観点別学習状況が著しく良い者

(b) 学力検査点が著しく高い者

(c) 内申点が著しく高い者

(d) 行動等の記録が著しく良い者

2 部活動・資格取得等のランク表（R 8 年度）

| | A | B | C | D |
|--------|---|---|--|---|
| 文化活動 | <p>[音楽・書道・美術・感想文等]</p> <p>○音楽(吹奏楽、マーチング)</p> <p>九州全国 入賞以上</p> <p>九州全国 個人入賞以上</p> <p>県 団体金賞(Aパート)</p> <p>個人金賞(ソロコン・アンコン)</p> <p>○書道・感想文・図画</p> <p>九州全国 入賞以上</p> <p>県 最優秀、金賞</p> <p>※九州全国でも参加賞に準ずるものは除く</p> <p>※その他 県代表以上</p> | <p>[音楽・書道・美術・感想文等]</p> <p>○音楽(吹奏楽、マーチング)</p> <p>県 団体銀賞(Aパート)</p> <p>審査員特別賞(Bパート)</p> <p>個人銀賞(ソロコン・アンコン)</p> <p>○書道・感想文・図画</p> <p>県 優秀、銀賞</p> <p>地区 最優秀</p> <p>※その他 地区代表</p> | <p>[音楽・書道・美術・感想文等]</p> <p>○音楽(吹奏楽、マーチング)</p> <p>県 団体銅賞(Aパート)</p> <p>奨励賞(Bパート)</p> <p>地区 金賞</p> <p>○書道・感想文・図画</p> <p>県 優良、佳作、入選、銅賞</p> <p>地区 優秀</p> <p>○部活動の正・副部長</p> <p>※その他 学校代表、県レベル程度の優良賞</p> | <p>※左記に該当しないもので、学級代表程度に相当すると判断されるもの</p> |
| | <p>[科学・弁論等]</p> <p>○科学作品展</p> <p>九州全国 入賞以上</p> <p>県 最優秀、金賞</p> <p>沖縄県知事賞、沖縄電力社長賞、沖縄県教育長賞</p> <p>○弁論(少年主張、英語弁論)</p> <p>九州全国 入賞以上</p> <p>県 最優秀</p> <p>※九州全国でも参加賞に準ずるものは除く</p> <p>※その他 県代表以上</p> | <p>[科学・弁論等]</p> <p>○科学作品展</p> <p>県 優秀、環境奨励賞</p> <p>地区 最優秀、金賞</p> <p>○弁論(少年主張、英語弁論)</p> <p>県 優秀</p> <p>地区 最優秀</p> <p>※その他 地区代表</p> | <p>[科学・弁論等]</p> <p>○科学作品展</p> <p>県 優良、佳作、入選</p> <p>地区 銀賞</p> <p>○弁論(少年主張、英語弁論)</p> <p>地区 優秀</p> | |
| スポーツ活 | <p>○各競技大会</p> <p>県 団体 ベスト4以上</p> <p>個人 ベスト8以上</p> | <p>○各競技大会</p> <p>地区 団体 優勝</p> <p>準優勝以上</p> <p>個人 ベスト8以上</p> | <p>○各競技大会</p> <p>学校代表、レギュラー(登録メンバーであることを指す)</p> <p>○部活動の正・副部長</p> | <p>○3 年間継続の部活動、マネージャー等</p> |
| 社会活動 | <p>○継続的活動に対しての九州、または県全域を対象とした団体からの表彰等</p> | <p>○継続的活動に対して市町村を対象とした団体の表彰等</p> <p>○生徒会長</p> | <p>○継続的活動に対して校内または地域を対象とした団体からの表彰等</p> <p>○生徒会役員</p> | <p>○学級会長</p> <p>○一定期間継続し実績と判断されるもの</p> |
| ボランティア | <p>○計画的・持続的な活動で、県レベルでの表彰、県代表で全国大会参加等</p> | <p>○学校・地域での継続的な活動で学校・市町村レベルでの表彰等</p> | <p>○学級・地域での継続的な活動</p> | <p>○長期休業イベント等における短期間の活動</p> |
| 資格取得等 | <p>○英検 準2級以上</p> <p>○漢検 準2級以上</p> <p>○数検 準2級以上</p> <p>○危険物乙種第4類</p> <p>○パソコン検定準2級以上</p> <p>○ワープロ検定 2級以上</p> | <p>○英検 3級</p> <p>○漢検 3級</p> <p>○数検 3級</p> <p>○危険物丙種</p> <p>○パソコン検定 3級</p> <p>○ワープロ検定 準2級</p> | <p>○英検 4級</p> <p>○漢検 4級</p> <p>○数検 4級</p> <p>○ワープロ検定 3級</p> | <p>○各種検定の5級</p> <p>○ワープロ検定4級</p> |

【備考】① 特色選抜における実績は、出願書類における「証明する書類の写し」として提出された1項目（1つの大会、1つの検定等）について採用する。

② 文化活動の大会、コンテスト等は地区または全県的に組織された団体の主催のものとする。

③ 書道・硬筆は文科省認定の検定のみ対象とする。

④ 数学検定1次、2次どちらかのみ合格は、該当する級より1ランク下げる。

⑤ 上記ランクに該当しない実績は「Eランク」として扱う。

3 特色選抜 [入学者選抜における求める生徒像・選抜方法]

| 学校番号 | 学校名 | 課程 | 学科・コース | 募集定員 (特色＋一般) |
|---------------|--|-----|---------|-----------------|
| 39 | 北部農林 | 全日 | アグリテクノ科 | 40 |
| 求める生徒像・重視する観点 | 【求める生徒像(アドミッションポリシー)】 | | | |
| | 1. 農業や食、環境、ものづくりに興味・関心がある生徒 2. 基本的な生活習慣を身につけ、規律ある行動ができる生徒 3. 将来の目標に向かって努力し、地域社会に貢献したい生徒 | | | |
| | 【選抜において重視する観点】 | | | |
| | 1. 基礎的な学力を有し、主体的に学習に取り組む事ができる生徒 2. 他者と協力しながら、学ぶ姿勢を持ち続けられる生徒 3. 家畜や果樹、作物の生産に興味・関心がある生徒 | | | |
| 選抜項目・検査方法・配点 | 募集定員 (特色選抜) | 16名 | | |
| | 【各選抜項目における配点】 | 計 | 750 | 点 |
| | 1. 学力検査 250点 | | | |
| | 50点満点×5教科＝250点 | | | |
| | 2. 調査書 250点 | | | |
| | (1) 教科の評定 135点 (2) 特別活動 40点 特別活動の記録、行動の記録などを評価する。 (3) 部活動/資格取得等 75点 部長、県大会出場、九州(全国)大会出場、その他顕著な活動などを「部活動・資格取得等のランク表(R8年度)」をもとに評価する。 評価する対象は、1つの実績とする。 賞状など本人が取得・出場したことを証明する資料の写し(A4版)を提出する。 | | | |
| | 3. 面接及びプレゼンテーション 250点 | | | |
| | (1) 実施内容 ○面接・・・受検番号、出身中、氏名 / 志望理由 / 中学校での活動状況 / 高校生活の抱負 など ○プレゼンテーション ①【選抜において重視する視点】の3.について自分で調べたこと、取り組んだことを踏まえて、今後高校で学びたいことについて資料を元に3分間のプレゼンテーションを行う。 ②受検者は、 A4サイズ1枚の資料を出願時に提出 すること。 注1 メモ等の準備をしても良いが、道具の持ち込みやプロジェクターなどの機器の使用はできない。 注2 資料の 手書きは不可 とする。Officeソフトなどを活用して資料を作成する。写真や図などを含めても良い。 注3 資料右上に受検番号・中学校名・氏名を記入すること。 ③プレゼンテーション終了後に内容に関する質疑応答を行う。 | | | |
| | (2) 配点 面接(基本質問) 50点 プレゼンテーション 200点(配点案:提出資料50点、プレゼン75点、質疑応答75点) (3) 所要時間 1人15分程度(基本質問5分、プレゼン3分、質疑応答7分) (4) 実施方法 個人プレゼンテーション形式 (5) 面接員の構成 1組2名 (6) 評価の観点 プレゼン内容 / 態度・言葉遣い / 応答内容 / 他 | | | |
| | 上記1～3を基に、調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し、選抜する。 | | | |
| 備考等 | ・「各選抜項目における配点 2. 調査書」における「(2) 特別活動」「(3) 部活動/資格取得等」の配点については、別に定める。 | | | |
| | ・出願に関する要件 | | | |
| | ① 勤怠:無届欠席が3年間で15日以上のもの、または無届欠席が5日以上のある学年があるものは出願できない。 ② 評定平均:3.0以上のものを出願対象とする。※1 算出方法は以下のとおりとする。 | | | |
| | ※1 〈算出方法〉 評定平均＝(1～3年までの全科目の評定の合計)÷27 (小数第2位を四捨五入) | | | |

| 学校番号 | 学校名 | 課程 | 学科・コース | 募集定員 (特色+一般) |
|---------------------|---|----|-----------|-----------------|
| 39 | 北部農林 | 全日 | 地域資源デザイン科 | 40 |
| 求める生徒像・選抜において重視する観点 | 【求める生徒像(アドミッションポリシー)】 | | | |
| | 1. 農業や食、環境、ものづくりに興味・関心がある生徒 2. 基本的な生活習慣を身につけ、規律ある行動ができる生徒 3. 将来の目標に向かって努力し、地域社会に貢献したい生徒 | | | |
| | 【選抜において重視する観点】 | | | |
| 選抜項目・検査方法・配点 | 募集定員 (特色選抜) | | 16名 | |
| | 【各選抜項目における配点】 | 計 | 750点 | |
| | 1. 学力検査 250点 | | | |
| | 50点満点×5教科 = 250点 | | | |
| | 2. 調査書 250点 | | | |
| | (1) 教科の評定 135点 (2) 特別活動 40点 特別活動の記録、行動の記録などを評価する。 (3) 部活動/資格取得等 75点 部長、県大会出場、九州(全国)大会出場、その他顕著な活動などを「部活動・資格取得等のランク表(R8年度)」をもとに評価する。 評価する対象は、1つの実績とする。 賞状など本人が取得・出場したことを証明する資料の写し(A4版)を提出する。 | | | |
| | 3. 面接及びプレゼンテーション 250点 | | | |
| | (1) 実施内容 ○面接・・・受検番号、出身中、氏名 / 志望理由 / 中学校での活動状況 / 高校生活の抱負 など ○プレゼンテーション ①【選抜において重視する視点】の3. について自分で調べたこと、取り組んだことを踏まえて、今後高校で学びたいことについて資料を元に3分間のプレゼンテーションを行う。 ②受検者は、 A4サイズ1枚の資料を出願時に提出すること。 注1 メモ等の準備をしても良いが、道具の持ち込みやプロジェクターなどの機器の使用はできない。 注2 資料の 手書きは不可 とする。Officeソフトなどを活用して資料を作成する。写真や図などを含めても良い。 注3 資料右上に受検番号・中学校名・氏名を記入すること。 ③プレゼンテーション終了後に内容に関する質疑応答を行う。 (2) 配点 面接(基本質問) 50点 プレゼンテーション 200点(配点案:提出資料50点、プレゼン75点、質疑応答75点) (3) 所要時間 1人15分程度(基本質問5分、プレゼン3分、質疑応答7分) (4) 実施方法 個人プレゼンテーション形式 (5) 面接員の構成 1組2名 (6) 評価の観点 プレゼン内容 / 態度・言葉遣い / 応答内容 / 他 上記1～3を基に、調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し、選抜する。 | | | |
| | ・「各選抜項目における配点 2. 調査書」における「(2) 特別活動」「(3) 部活動/資格取得等」の配点については、別に定める。 | | | |
| | ・出願に関する要件 | | | |
| 備考等 | ① 勤怠:無届欠席が3年間で15日以上のも、または無届欠席が5日以上のあるものは出願できない。 | | | |
| | ② 評定平均:3.0以上のものを出願対象とする。※1 算出方法は以下のとおりとする。 | | | |
| | ※1 〈算出方法〉 評定平均 = (1～3年までの全科目の評定の合計)÷27 (小数第2位を四捨五入) | | | |

| 学校番号 | 学校名 | 課程 | 学科・コース | 募集定員 (特色+一般) |
|---------------|--|-----|----------|-----------------|
| 39 | 北部農林 | 全日 | 食品クリエイト科 | 40 |
| 求める生徒像・重視する観点 | 【求める生徒像(アドミッションポリシー)】 | | | |
| | 1. 農業や食、環境、ものづくりに興味・関心がある生徒 2. 基本的な生活習慣を身につけ、規律ある行動ができる生徒 3. 将来の目標に向かって努力し、地域社会に貢献したい生徒 | | | |
| | 【選抜において重視する観点】 | | | |
| | 1. 基礎的な学力を有し、主体的に学習に取り組む事ができる生徒 2. 特別活動や資格取得に顕著な実績のある生徒 3. お菓子作りや地域素材を生かした特産品の開発に興味・関心のある生徒 | | | |
| 選抜項目・検査方法・配点 | 募集定員 (特色選抜) | 16名 | | |
| | 【各選抜項目における配点】 | 計 | 750 | 点 |
| | 1. 学力検査 250点 | | | |
| | 50点満点×5教科 = 250点 | | | |
| | 2. 調査書 250点 | | | |
| | (1) 教科の評定 135点 (2) 特別活動 40点 特別活動の記録、行動の記録などを評価する。 (3) 部活動/資格取得等 75点 部長、県大会出場、九州(全国)大会出場、その他顕著な活動などを「部活動・資格取得等のランク表(R8年度)」をもとに評価する。 評価する対象は、1つの実績とする。 賞状など本人が取得・出場したことを証明する資料の写し(A4版)を提出する。 | | | |
| | 3. 面接及びプレゼンテーション 250点 | | | |
| | (1) 実施内容 ○面接・・・受検番号、出身中、氏名 / 志望理由 / 中学校での活動状況/ 高校生活の抱負 など ○プレゼンテーション ①【選抜において重視する視点】の3. について自分で調べたこと、取り組んだことを踏まえて、今後高校で学びたいことについて資料を元に3分間のプレゼンテーションを行う。 ②受検者は、 A4サイズ1枚の資料を出願時に提出すること。 注1 メモ等の準備をしても良いが、道具の持ち込みやプロジェクターなどの機器の使用はできない。 注2 資料の 手書きは不可 とする。Officeソフトなどを活用して資料を作成する。写真や図などを含めても良い。 注3 資料右上に受検番号・中学校名・氏名を記入すること。 ③プレゼンテーション終了後に内容に関する質疑応答を行う。 (2) 配点 面接(基本質問) 50点 プレゼンテーション 200点(配点案:提出資料50点、プレゼン75点、質疑応答75点) (3) 所要時間 1人15分程度(基本質問5分、プレゼン3分、質疑応答7分) (4) 実施方法 個人プレゼンテーション形式 (5) 面接員の構成 1組2名 (6) 評価の観点 プレゼン内容 / 態度・言葉遣い / 応答内容 / 他 上記1～3を基に、調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し、選抜する。 | | | |
| | ・「各選抜項目における配点 2. 調査書」における「(2) 特別活動」「(3) 部活動/資格取得等」の配点については、別に定める。 | | | |
| | ・出願に関する要件 | | | |
| 備考等 | ① 勤怠:無届欠席が3年間で15日以上のもの、または無届欠席が5日以上のある学年があるものは出願できない。 ② 評定平均:3.0以上のものを出願対象とする。※1 算出方法は以下のとおりとする。 ※1 〈算出方法〉評定平均 = (1～3年までの全科目の評定の合計)÷27 (小数第2位を四捨五入) | | | |
| | | | | |

| 学校番号 | 学校名 | 課程 | 学科・コース | 募集定員 (特色＋一般) |
|---------------|---|-----|--------|-----------------|
| 39 | 北部農林 | 全日 | ライフ創造科 | 40 |
| 求める生徒像・重視する観点 | 【求める生徒像(アドミッションポリシー)】 | | | |
| | 1. 農業や食、環境、ものづくりに興味・関心がある生徒 2. 基本的な生活習慣を身につけ、規律ある行動ができる生徒 3. 将来の目標に向かって努力し、地域社会に貢献したい生徒 | | | |
| | 【選抜において重視する観点】 | | | |
| | 1. 基礎的な学力を有し、主体的に学習に取り組む事ができる生徒 2. 特別活動や資格取得等に意欲的に取り組むことができる生徒 3. 農業、食、子どもに興味・関心がある生徒 | | | |
| 選抜項目・検査方法・配点 | 募集定員 (特色選抜) | 16名 | | |
| | 【各選抜項目における配点】 | 計 | 750 | 点 |
| | 1. 学力検査 250点 | | | |
| | 50点満点×5教科 = 250点 | | | |
| | 2. 調査書 250点 | | | |
| | (1) 教科の評定 135点 (2) 特別活動 40点 特別活動の記録、行動の記録などを評価する。 (3) 部活動/資格取得等 75点 部長、県大会出場、九州(全国)大会出場、その他顕著な活動などを「部活動・資格取得等のランク表(R8年度)」をもとに評価する。 評価する対象は、1つの実績とする。 賞状など本人が取得・出場したことを証明する資料の写し(A4版)を提出する。 | | | |
| | 3. 面接及びプレゼンテーション 250点 | | | |
| | (1) 実施内容 ○面接…受検番号、出身中、氏名 / 志望理由 / 中学校での活動状況 / 高校生活の抱負 など ○プレゼンテーション ①【選抜において重視する視点】の3.について自分で調べたこと、取り組んだことを踏まえて、今後高校で学びたいことについて資料を元に3分間のプレゼンテーションを行う。 ②受検者は、 A4サイズ1枚の資料を出願時に提出 すること。 注1 メモ等の準備をしても良いが、道具の持ち込みやプロジェクターなどの機器の使用はできない。 注2 資料の 手書きは不可 とする。Officeソフトなどを活用して資料を作成する。写真や図などを含めても良い。 注3 資料右上に受検番号・中学校名・氏名を記入すること。 ③プレゼンテーション終了後に内容に関する質疑応答を行う。 (2) 配点 面接(基本質問) 50点 プレゼンテーション 200点(配点案:提出資料50点、プレゼン75点、質疑応答75点) (3) 所要時間 1人15分程度(基本質問5分、プレゼン3分、質疑応答7分) (4) 実施方法 個人プレゼンテーション形式 (5) 面接員の構成 1組2名 (6) 評価の観点 プレゼン内容 / 態度・言葉遣い / 応答内容 / 他 上記1～3を基に、調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し、選抜する。 | | | |
| | ・「各選抜項目における配点 2. 調査書」における「(2) 特別活動」「(3) 部活動/資格取得等」の配点については、別に定める。 | | | |
| | ・出願に関する要件 | | | |
| 備考等 | ① 勤怠: 無届欠席が3年間で15日以上のも、または無届欠席が5日以上のある学年があるものは出願できない。 ② 評定平均: 全体の評定平均3.0以上(※1)、且つ技術・家庭科の評定平均3.0以上(※2)のものを出願対象とする。 | | | |
| | ※1<算出方法> 評定平均 = (1～3年までの全科目の評定の合計)÷27 (小数第2位を四捨五入) | | | |
| | ※2<算出方法> 技術・家庭科の評定平均 = (1～3年までの技術・家庭科の評定の合計)÷3 (小数第2位を四捨五入) | | | |

| 学校番号 | 学校名 | 課程 | 学科・コース | 募集定員 (特色＋一般) |
|---------------------|---|-----|--------|-----------------|
| 60 | 北農(定) | 定時 | 農業科 | 40 |
| 求める生徒像・選抜において重視する観点 | 【求める生徒像(アドミッションポリシー)】 | | | |
| | 1. 農業や食、環境、ものづくりに興味・関心がある生徒 2. 基本的な生活習慣を身につけ、規律ある行動ができる生徒 3. 将来の目標に向かって努力し、地域社会に貢献したい生徒 | | | |
| 選抜項目・検査方法・配点 | 【選抜において重視する観点】 | | | |
| | 1. 基礎的な学力を有し、主体的に学習に取り組む事ができる生徒 2. 働きながら学業との両立ができ、農業に興味・関心がある生徒 3. 社会の一員としてルールを守り、他者と協力して行動できる生徒 | | | |
| 選抜項目・検査方法・配点 | 募集定員 (特色選抜) | 16名 | | |
| | 【各選抜項目における配点】 | 計 | 750点 | |
| | 1. 学力検査 250点 | | | |
| | 50点満点×5教科＝250点 | | | |
| | 2. 調査書 250点 | | | |
| | (1) 教科の評定 135点 (2) 特別活動 40点 特別活動の記録、行動の記録などを評価する。 (3) 部活動/資格取得等 75点 部長、県大会出場、九州(全国)大会出場、その他顕著な活動などを「部活動・資格取得等のランク表(R8年度)」をもとに評価する。 評価する対象は、1つの実績とする。 賞状など本人が取得・出場したことを証明する資料の写し(A4版)を提出する。 | | | |
| | 3. 口頭試問 100点 | | | |
| | (1) 実施内容 基本質問・・・受検番号/ 出身中/ 氏名/ 志望理由/ 中学校での活動状況/ 高校生活の抱負 など 口頭試問・・・学業に関わる質問を行う。 (2) 配点 基本質問 50点、口頭試問 50点 (3) 所要時間 1人10～15分程度 (4) 実施方法 個人面接形式 (5) 面接委員の構成 1組2名 (6) 評価の観点 応答内容/ 態度・言葉遣い/ 服装容疑/ 他 ※場面緘黙を抱える生徒には筆談で対応する。 | | | |
| | 4. 作文 150点 | | | |
| | (1) 実施方法 当日与えられた課題について400字程度の文章を作成する。 (2) 時間 50分間 (3) 評価の観点 表現力/ 構成力 | | | |
| | 上記1～4を基に、調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し、選抜する。 | | | |
| 備考等 | ・「各選抜項目における配点 2. 調査書」における「(2) 特別活動」「(3) 部活動/資格取得等」の配点については、別に定める。 | | | |
| | ・出願に関する要件 | | | |
| | ① 勤怠:無届欠席が3年間で15日以上もの、または無届欠席が5日以上もの学年があるものは出願できない。 ② 評定平均:2.0以上のものを出願対象とする。※1 算出方法は以下のとおりとする。 | | | |
| | ※1 〈算出方法〉 評定平均＝(1～3年までの全科目の評定の合計)÷27 (小数第2位を四捨五入) | | | |

4 令和 8 年度 一般選抜 合否判定基準

沖縄県立北部農林高等学校

(1) 内申書類審査について

- ・調査書中の 1 年～3 年までの 9 教科の評定の中で音楽、美術、保健体育、技術・家庭の 4 教科については、それぞれ補正係数 1.5 をかけて評定合計を補正する。
- ・補正していない国語、社会、数学、理科、英語の 5 教科の評定合計と、補正した 4 教科の評定合計を志願者の内申点とする。
- ・志願者の志望学科及び出欠、健康、行動、特別活動、特技、諸活動、資格等の特記すべき事項を調査書から取り上げる。

(2) 学力検査について

- ・5 教科の学力検査の得点を合計したものを学力検査点とする。

(3) 面接について

- ・提出書類の記載事項の確認及び志願者についての理解を深め、志願者の特性、目的意識を確認する。

(4) 合否の判定について

- ・調査書と学力検査点は、5：5 の比重で合否判定を行う。内申点と学力検査点を基にした総合点の算出により、各圏を設定する。

(5) 各圏の設定の仕方

A 圏

内申点、学力検査点に基づいて募集人員(特色選抜合格者を除く、以下同じ)の 80% 程度の人数が含まれるような範囲を設定し、A 圏とする。

B 圏

募集人員の 110% 程度が含まれるように範囲を設定し、それから A 圏を除いたものを B 圏とする。

C 圏

A 圏と B 圏を除いた残りを C 圏とする。

(6) 合格者、不合格者の決め方

- ア A 圏の中で下記の条件 1の (a) (b) のいずれかに該当するもの以外は合格者とする。ただし、第二志望のものは、B 圏として扱う。
- イ C 圏の中で条件 2の (a) (b) (c) (d) のいずれかに該当するもの以外は不合格とする。
- ウ B 圏のものにア、イで保留になったものを含めて条件 2 の (a) (b) (c) (d) により総合的に判断し、合格者を決定する。

条件 1

- (a) 行動の記録に好ましくない記載がある者
- (b) 正当な理由がなく、欠席の数が多い者

条件 2

- (a) 観点別学習状況が著しく良い者
- (b) 学力検査点が著しく高い者
- (c) 内申点が著しく高い者
- (d) 行動等の記録が著しく良い者